

UNITE FOR GOOD

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

白
信



2025

7

Rotary 
第2820地区

国際ロータリー 2820 地区
2025-2026 年度
ガバナー 瀬戸隆海

UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取りあおう

目 次



MATERNAL AND
CHILD HEALTH

7月は 母子の健康月間 です

RI 会長 メッセージ	3	地区組織図	24
ガバナーメッセージ	6	地区資金予算書	26
2025-2026 年度 年次目標	8	基金及び協力金予算書	28
地区幹事・地区会計長あいさつ	12	送金カレンダー	29
特別月間「母子の健康月間に寄せて」	13	ガバナー時代回顧録	30
ガバナー補佐・クラブ会長・幹事 紹介	14	地区予定表・編集後記	32
公式訪問に関するお願い	23		

題字・表紙写真

作者紹介

澤田憲一 1969年12月生まれ 兵庫県伊丹市在住
大阪音大作曲家卒 音楽活動をする傍ら墨彩画を学び、現在各地で教室を持っている。

ゆめごと 心の糸が 夜空をたゆたう

表紙シリーズとして歳時記をとりあげ、毎月の歌に合わせての季節を紹介します。



R.I. 会長メッセージ

2025-2026 年度
国際ロータリー会長

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ
(サント・アンドレ・ロータリークラブ：ブラジル)

敬愛なるガバナーとロータリーリーダーである皆さま、おはようございます。

昨年はここに、2024-25 年度ガバナーにお集まりいただきました。その際、私は国際ロータリーの会長ノミニーとして、会員増強を私たちの組織の最優先事項であり、最も価値ある資産であり、最大の課題であると強調しました。

そして今日、会長エレクトとして皆さんの前に立っている今、ロータリーの未来を確かなものにするには、組織全体で会員増強に力を注ぐことが不可欠であると、これまで以上に確信しています。

ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です。会員は、地球上で最も有能なボランティアのチームです。私は、アトランタ国際大会で、ポリオ根絶のパートナー団体を代表する人物が、ロータリー会員の並外れた献身を称賛したのを聞いて、このことを学びました。外部団体からそう認められたことで、ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員であるという私の理解が深まりました。

本日は、会員増強と活性化に向けたロードマップについてお話ししたいと思います。このロードマップは、革新、継続性、パートナーシップという、不可欠な三つの柱に基づいています。これらの原則は単なる戦略ではありません。ロータリーを活性化し、新たな声や考え方を取り入れ、世界中の地域社会への奉仕を強化するための行動の呼びかけです。

世界は、劇的なペースで変化しています。テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。トマー・ディ・ランペドゥーサが『山猫』で書いたように、「すべてを同じままに保つには、すべてを変えなければならない」のです。

革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです。若い会員を迎え入れるだけでなく、目的やつながりを求める年配の方々にも参加していただく必要があります。

68 歳の私は、仲間たちのコミュニティを見つけることがどれほど充実したものであるかを、身をもって知っています。

私の所属クラブであるサント・アンドレ・ロータリークラブは、150 人の会員を擁する活気と伝統のあるクラブです。妻のデニースは、衛星クラブの結成に助力し、50 人近い素晴らしい女性たちが自分らしくリーダーシップを発揮できる場を創り出しました。

衛星クラブ、分野特化型クラブ、法人クラブ、パスポートクラブなどは、多様な人びとを惹きつけるために必要な柔軟性の例です。これらのモデルがどこでも通用するわけではありませんが、従来の枠組みにとらわれずに未来のロータリアンに働きかける機会をもたらします。将来のロータリー会員は必ずどこかにいます。私たちは、そこに赴いて彼らを見つける必要があります。

この18カ月間で地球を6周以上した旅の中で、最も健全な地区には、一貫し、団結したリーダーシップという重要な特徴があることに気づきました。ガバナーが前任者の努力を基盤とし、プログラムや戦略が毎年途切れることなく継続されるようにすることで、地区は発展します。一方、トップにおける不和は、時限爆弾のようなものであり、これが会員数の減少という結果を引き起こすことがよくあります。

この旅から得た感動的な瞬間をいくつかご紹介しましょう。ナイジェリアの第9141地区では、サービスの行き届いていない地域に井戸を建設したり、学校に椅子を寄贈したりすることの素晴らしいインパクトを目の当たりにしました。パキスタンでは、2022年の壊滅的な洪水の被災者が、ただ生き延びるだけの生活からより良い未来へと移行できるよう、ロータリーが支援しているスマートビレッジを訪れました。

インドのムンバイでは、ロータリーの補助金で先天性心臓病の治療を受けている子どもたちに会いました。また、別の地域では、緩和ケア病院の外に、がん検診、歯科治療、眼科検診を支援するロータリー財団のロゴが入った救急車が並んでいるのを目にしました。

インドネシアのランブンで、デニースと私は、700世帯の経済が小規模ながら変化し、米を生産する農家の収入が増えるのを目にする機会に恵まれました。

継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リーダー同士が連携し、自分の“ガバナー年度”を越えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれます。ロータリーはすでに、毎年リーダーが交代するという独特な課題に直面しています。これ以上、私たちの努力を分散させて、状況をさらに難しくしてはなりません。むしろ、未来のリーダーがさらに発展させていけるような協力の遺産を築いていきましょう。

ロータリーがポリオ根絶活動で培ってきた歴史は、私たちに貴重な教訓を与えてくれます。単独でも大きな成果を上げることができますが、力を合わせれば、世界を変えることができるのです。ゲイツ財団、WHO、UNICEFといった団体とのパートナーシップは、230億ドルを投じて40年以上取り組んできたポリオ根絶活動において極めて重要な役割を果たしました。ロータリーが単独でこれほどまでに大きな進展を遂げることはできなかったでしょう。

それならば、会員増強にもこの教訓を活かすべきではないでしょうか。ビジネス団体、専門職団体、教育機関などと協力することで、ロータリーは職業や考え方の多様性を取り入れながら、質の高い会員を引き付けることができます。このようなパートナーシップは、「量か質か」という誤った二者択一を排除します。奉仕と参画というロータリーの価値観を共有する職業人に働きかけることで、世界でよいことをするロータリーの力を拡大できます。

最終的には、私たちのすべての成果、プロジェクト、パートナーシップは会員にかかっています。会員増強とは単に数字を増やすことではなく、集合体としての私たちの力をさらに高め、ロータリーの使命を継承していくことです。

まず、誰も永遠には生きられないと認識しなければなりません。クラブの高齢化に対する唯一の策は、絶えず新会員を迎え入れることです。

第二に、会員数が増えれば奉仕の力も広がります。会員が増えるということは、奉仕に参加する人が増え、地域社会にさらに多くのリソースを投入できることを意味します。

第三に、後継者育成計画が重要です。クラブは成長するか、衰退するかのいずれかであり、安定した会員基盤というものはありません。

私たちは、会員の勧誘と維持を、ロータリー会員の世代から世代へと受け継がれる中核的価値観としなければなりません。そうすることで、ロータリーが今後数十年にわたって活気とインパクトを維持できるのです。

ロータリー会員は行動人です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。

行動人とは、何をするのでしょうか。私たちは、よいことのために手を取りあいます。

これが、2025-26年度の会長メッセージです：「よいことのために手を取りあおう」

分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。ロータリーは、より良い人間となり、人びとに奉仕し、末長いインパクトをもたらすよう、私たちを鼓舞します。

本日この会場を後にする際には、地区でロータリーを成長させるための最善の戦略を学ぶことに焦点を当ててください。ロータリーは、この協議会に多大な時間と資金を投じてきましたが、それはスピーチや派手な演出のためではなく、皆さんが効果的にリーダーシップを発揮するための手段を身につけていただくためです。この投資から得られる見返りは、金銭で測られるものではなく、新会員の入会数、革新的なクラブの創設、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらすことによって測られるでしょう。

そして、この使命を遂行するにあたり、ロータリーの最大の喜びの一つ、すなわち、世界中に友人をつくり、楽しむことを忘れないでください。

成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩んでいきましょう。よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう。



ガバナーメッセージ

国際ロータリー 2820 地区
2025-2026 年度ガバナー

瀬戸 隆海（水海道 R.C.）

ロータリアン、そしてローターアクターの皆さま、新しいロータリー年度を迎え、それぞれのクラブにおいては新しい年度に向けて活動がスタートされたことと存じます。私もガバナーに就任するに際し、2月にアメリカのオーランドにおいて開催された国際協議会に参加して、様々な方々と意見を交わしてきました。国際協議会に参加するにあたっては、当時大高ガバナーをはじめ先輩パストガバナーに大変だった苦労話や心得を十二分に聞かせていただきました。ガバナーになるって大変なんだなあと覚悟を決め、同期のガバナーの仲間たちと羽田を出発しました。時差ぼけを解消するため開催2日前に現地に到着し、仲間たちと食事会をしたりして時間を過ごし国際協議会会場に臨みました。会場には世界各地のガバナーエレクトとパートナー（ロータリーは奥様の事をパートナーといいます）、そして国際協議会運営関係者の1500名弱の人で溢れ、新しい年度に向けての意気込みをもって活気に満ちてあました。

さて開会セレモニーでは、マリオ会長はRI会長メッセージで『よいことのために手を取り合おう』と述べられました。会長テーマでなく会長メッセージです。このことは、昨年度から取り入れられているロータリーの3年間の目標と計画（3-year Rolling Target / Plan）を具現化した対応です。目標に向けて継続性をもち、新しい方向に突き進むということです。毎年行われているRI会長メッセージ（テーマ）の発表の瞬間に立ち会うことのできるの、国際協議会に参加できる人の特権です。

昨年暮れにマリオ会長が日本に来られて、エレクト達との懇談会がありました。国際協議会の前に来日をして意見交換を行うということは、初めてのことで、とても異例なことです。逆に、あなたは何の目的で日本に来ましたか？といった質問を投げかけた事も。その時に、来年の会長メッセージは決まりましたか？と質問が出されました。会長の答えは、決まっているけど今は話せない。だって今話してしまったら発表の瞬間のセレモニーが楽しくなくなってしまう、と言われたくらいです。つまり、あの瞬間が国際協議会の大イベントなんです。皆さん方で、あの瞬間の醍醐味を味わいたかったら、是非ガバナーになってください。

さて、マリオ会長が『よいことのために手を取り合おう』と言われた事には、どのような意味があるのでしょうか。様々な受け方があるかと思います。会員増強からの考え方は、多くの人々たちにロータリーの仲間になっていただいて、一緒に手を取り合おうという考え方もあるでしょう。マリオRI会長は、ロータリーの最大の財産は会員であり、個々の会員が協力することで世界を変える力があると述べられました。つまり、多くの人々が手を取り合うことで、世界平和に貢献できるということです。この意味することは、会員増強をし新しい仲間を増やし、クラブを活性化しようということです。それも、仲間のターゲットを若い年代層に絞っていることです。

クラブ会員は、悲しいかな誰もが老いていきます。しかし、若い層の会員を常に取り入れることによって、クラブは若返っていきます。ある統計によれば、若い会員が5年以上入会がないクラブは、5年後には消滅するとまで言われています。是非とも、若い仲間たちと手を取り合っていただきたいと思っています。

奉仕という面から考察すると、世界中でロータリーを、「地球上で最も有能なボランティアのチーム」と称されている今、ロータリーをより拡大する計画の概要を示し、成長、奉仕、つながりを大切にしていこうということでもあります。会員がふえることによって、財団の寄付の成果があがり、その資金を奉仕活動に活用するということです。ロータリーの大事なことは、四つのテストに基づいた職業奉仕、社会奉仕を通じて、仲間達との輪を拡げ、そして寄付を行うことによって、より社会貢献を行うことでもあります。それこそ、よいことに手を取り合おうということなのです。

私の座右の銘とする詩に「時は今 ところ足元 そのことに打ち込む命 永久の御命」があります。この事をメッセージとして紹介した時に、今年のガバナー補佐、総括委員長の皆さまは、それぞれに素晴らしい解釈をしていただきました。本当にありがたかったです。一言で言ってしまうと、温故知新ともいえるのではないのでしょうか。それぞれの方が色々と解釈していただき、ロータリー活動の指針にしていいただければと思います。

それぞれの会員諸兄の活動の成果、ご健勝を祈念し、新年度としてもごあいさつに代えさせていただきます。



2025-26 年度の国際ロータリーとロータリー財団の年次目標

ロータリー行動計画

私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って、行動する世界を目指しています。

より意義あるつながりを育み、奉仕を通じてより持続可能な変化をもたらすためにロータリーを導くのが、私たちの戦略計画である「ロータリー行動計画」です。

この四つの優先事項を指針とすることで、より健全なクラブをつくり、すべての人が積極的に参加できる体験を提供し、行動を通じて持続的な変化を生むために人々を結びつけるという国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実行することとなります。

優先事項1 「より大きなインパクトをもたらす」

- ・ポリオを根絶し、残された遺産を活用する。
- ・ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる。
- ・活動成果を挙げ、それを測る能力を高める。

優先事項2 「参加者の基盤を広げる」

- ・会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する。
- ・参加者がロータリーを体験する新しい方法を作り出す。
- ・クラブの柔軟性とアピール力を高める。
- ・インパクトとブランドに対する理解を築く。

優先事項3 「参加者の積極的なかわりを促す」

- ・クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する。
- ・個々の参加者をよりよく理解し、サポートする。
- ・個人的 / 職業的なつながりを築く新たな機会を提供する。
- ・リーダーシップ育成とスキル開発のための学びの機会を提供する。

優先事項4 「適応力を高める」

- ・研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く。
- ・ガバナンス、構造、プロセスを合理化する。
- ・意思決定におけるより多様な考え方を育む。

地区行動指針

時は今 ところ足元 そのことに

打ち込む命 永久の御命（椎尾弁匡 御作）

【解説】

今、何が大切かと考えたとき、結果としてこの一瞬をできる限り努力をする事に尽きるのではないで
しょうか。人は、ついつい先を見て焦ってしまいます。先走ってやらなくてもいいことをして失敗し
てしまいがちです。でも足もとを確実に固め、ゆっくりといいですから「生ききる」ことです。その
打ち込む姿勢が「永遠の命」に帰結していきます。

【地区数値目標】

①会員数（ロータリアン・ローターアクター） → 『ロータリーの財産』

- ・地区目標 2,000 名

ロータリークラブ（含む衛星クラブ会員） 純増 クラブ会員数×8%

ローターアクトクラブ 純増 1 名

- ・特化型の衛星クラブ創立の促進

②ロータリー財団寄付

- ・年次基金寄付 150 ドル / 人

- ・ポリオプラス基金 30 ドル / 人

- ・恒久基金（ベネファクター） 各クラブ 1 名以上

- ・ポリオ・プラス・ソサエティ（PPS） 現 PPS 会員 + クラブ 1 名以上

- ・ポール・ハリス・ソサエティ（PHS） 地区 100 名以上維持

③米山記念奨学会寄付

- ・会員一人当たり 25,000 円（普通寄付 5,000 円：特別寄付 20,000 円）

④ My ROTARY の登録推進と活用促進

- ・会員登録 全会員の 90% 以上

ロータリーの情報源でもあり各自のロータリアンとしての資質向上

【地区行動指針】

①ポリオ根絶のためのプロジェクト

ポリオ根絶はロータリーとしての最優先事項です。ポリオ根絶まであと少しと言いながら、昨年
パキスタンで感染者が多発いたしました。また、ガザ地区でもワクチン由来の患者が流行しました。
WHOはワクチン投与を強く訴え、ガザ地区においてポリオワクチン投与のために一時停戦にする
ほど、世界はポリオ根絶に対して重きを置いています。

地区ではポリオ根絶キャンペーンを世界ポリオデーに合わせ、実行委員会を立ち上げ、地区全体
事業としてイベントを実行いたします。

→財団委員会を中心に、地区内各奉仕委員会・米山奨学生を対象、全クラブ。

②ウクライナ支援事業のために ICC(国際共同委員会) 設立に参画

当地区はウクライナ紛争が勃発した時から、早急に支援活動を行ってきました。そして、日本国内の多くの地区においても支援を行っています。しかしながら夫々の地区で支援を行うには限度があります。ウクライナは一か国で1地区であります。支援を受ける地区と支援する側の地区と協定を交わし ICCを立ち上げ、効果的な支援をするよう推し進めていきます。日本国内では ICC を立ち上げたことはありません。日本は戦後 80 周年という年に、ウクライナ復興のための ICCを立ち上げることは、とても重要な事ではないでしょうか。平和構築のためにご協力をお願いいたします。

さらに、ウクライナ復興のための義援金をお願いいたします。

→国際奉仕委員会

③ Diversity(多様性)、Equity(公平性)、Inclusion(インクルージョン) の促進

多様性：全てにおいて門戸を開放する

公平性：誰もが公平で大切にされる

インクルージョン：多様性を受け入れ、互いに認め合い、みんなが活躍できる

『四つのテスト』の実施

→クラブ奉仕委員会

④公共イメージの向上

会員増強の最大的手段として、ロータリーのイメージ向上があるのではないのでしょうか。

イメージアップの手段としては、様々な媒体はありますが、ロータリーそのものを我々が楽しまなければ、外部の人には伝わらないと思います。

国際協議会において「ロータリー・ブランド」というテーマで話し合われました。いろいろな意見が出されましたが、今一度クラブで、委員会で意見交換していただくことで、公共イメージアップの手段が見えてくると思います。

⑤会員維持率の向上と増強

マリオ RI 会長は、ロータリーの財産はクラブであり会員であると言っております。しかしながら現時点においては、会員減少は否めないものであります。老朽化したクラブは衰退の岐路に立たされるのであります。唯一復活する手立ては、新しい会員、そして若い世代の会員を増やすのみであります。クラブの次の世代への移行を推し進めるリーダーが必要であります。老朽化したクラブが、それを受け入れないならば新しいクラブを作るべきです。

クラブが、それを受け入れないならば新しいクラブを作るべきです。

近年のクラブの形態としては、サテライトクラブ、原因に基づくクラブ、企業クラブ、パスポートクラブ等があります。所謂、特化したクラブであります。特化した衛星クラブも有りでしょう。是非とも、新しい仲間を増やしましょう。

⑥ローターアクトクラブの活性化

将来ロータリアンになるようなローターアクターへの投資であると踏まえ、我々はローターアクトと共に学び、ともに活動することが大切であります。そのためには、多くのメンバーを発掘していくのもロータリークラブとして支援していかなくてはなりません。

⑦青少年育成事業の推進

未来を担うリーダーの育成に努めましょう。インターアクト、RYLA、青少年交換への支援及び協力を強化しましょう。

⑧ RLI への積極的参加

RLI はロータリーにおける最大の指導力育成プログラムです。一人でもロータリーの活動に理解を深め、活力あるクラブ創生に力を出せるよう参加推進をお願いいたします。

⑨メイクアップの奨励

クラブ例会出席は会員としての義務ですが、メイクアップは諸事情により出席が叶わないための手段ですが、時には他クラブの情報、会員との交流、そして気付きがあります。自クラブだけでなく、積極的に他クラブに出向いてみましょう。

⑩ My ROTARY の活用推進及び『ロータリーの友』の積極的な購読

ロータリーの情報がすべて網羅されております。是非とも、ロータリーの情報源の活用をお願いいたします。

⑪クラブ優秀賞への挑戦

クラブ優秀賞を取ることが目的ではなく、自分たちが目標に向かってどれだけ躍進したかという評価です。それぞれのクラブ活性のために、トライしましょう。

→ガバナー補佐

⑫国際大会への参加

今年度の国際大会は、2026 年 6 月 13 日～17 日に台北（台湾）で行われます。多くの登録をお願いいたします。

⑬ロータリー希望の風奨学金支援の継続

東日本大震災により災害孤児になった青少年への教育支援をいたします。

一人 1,000 円の支援を任意でお願いいたします。



地区幹事あいさつ

国際ロータリー 2820 地区
2025-2026 年度

地区幹事 青木 正弘 (水海道 R.C.)

この度、国際ロータリー第2820地区2025～2026年度の地区幹事を拝命いたしました水海道ロータリークラブの青木正弘です。

私は、大久保ガバナー年度、大高ガバナー年度と2年間様々な形で勉強、経験をさせていただきました。また、諮問委員の皆様や歴代の地区幹事、会計長にもご指導いただき、その職責の重さを痛感しております。

また、3月に開催しました地区チームラーニングセミナー (DTLS) 会長エレクト研修セミナー (PETS) 4月に開催の地区研修・協議会 (DTA) には地区内ロータリアンのご協力をいただき滞りなく終了することができました。有難うございました。

7月からは瀬戸ガバナー年度がスタートしました。(UNITE FOR GOOD) 皆様方と力を合わせガバナーが掲げた会員増強、ポリオ根絶活動等の目標達成を目指し地区幹事としての職責を果たしてまいりたいと思います。皆様方のご指導ご協力をお願い申し上げます。



地区会計長あいさつ

国際ロータリー 2820 地区
2025-2026 年度

地区会計長 倉持 功典 (水海道 R.C.)

2025-2026 年度地区会計長を拝命いたしました、水海道ロータリークラブの倉持功典です。4月13日の地区研修・協議会におきまして、地区資金及び基金・協力金予算をご承認いただきありがとうございました。皆様からお預かりした貴重な資金を適正に管理し、瀬戸ガバナー年度における円滑な運営に努めてまいります。本年度も引き続き、ご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

特別月間「母子の健康月間に寄せて」



社会奉仕委員会 総括委員長

黒木 雅宏
(水戸西 RC)

2014年10月RI理事会は4月を「母子の健康月間」としました。これは7つの重点分野のひとつであり

- (1) 5歳未満の幼児及び妊婦の死亡率と罹患率の削減
- (2) より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供
- (3) 保健従事者を対象とした研修、保健ケアの提供、母子の健康に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金の支援を強調する月間としました。

そして2022年RI理事会(2022年10月)において、「母子の健康月間」は4月から7月になりました。

日本は医療体制も充実していますので、世界各国のなかでもトップクラスの安全な妊娠出産が出来る国だと思います。しかしながらロータリークラブで行う『母子の健康月間』はやはり自宅出産などによるアフリカ大陸や東南アジア地方など医療体制が整っていない国々の、出産後の母体と産まれてきた赤ん坊が安心して成長出来るための医療・看護・養育が整備されているかということを最優先課題と考えています。

子どもは宝物であり、その子どもを産み育てる母親の健康もとても大切です。しかし、毎年5歳未満で命を落とす子どもは、世界で推定590万人と言われています。その原因のなかには、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、予防が可能なものが数多くあります。予防可能な原因で母親や子どもが命を落とすことがないようにと私たちロータリークラブは考えています。すなわち、すべての母子が質の高い医療を受けられるような体制づくりを支援し、出産で命を落とす母親がいなくなるようにと推進していき、産まれてきた子ども達が健やかに成長していけるように私たちは支援活動を行っていかねばなりません。

またロータリークラブはこんな素晴らしい活動をしています。教育、予防接種、出産キット、移動クリニックなど、ありとあらゆる方法で母子の健康を推進し、女性を対象にしたHIV母子感染の予防、母乳による授乳、病気の予防に関する教育なども行っています。母親が健康であれば、その家族も明るく健康になり、貧

困や飢餓をなくしていくことができるはずです。

もう一つの問題は『出生率』の低下です。最新の世界出生率ランキングでは日本は227ヶ国中1.4人で212位です。中国は1.55人で193位です。下位のなかには香港・シンガポール・韓国・台湾が1.2～1.1人となっていて近隣アジア先進国の出生率は低くなっています。またG7諸国も1.9～1.2人です。先進国での目標する人口置換水準は2.1人という事ですので、母親が2人以上出産すれば人口が減ることもなく維持できるといえることです。3人を目標に産んでもらえれば人口減少の問題は回避できます。日本の人口が2024年には約1億2400万人となりましたが、2021年には約1億2500万人でした。数年で約100万人が減少しています。今世紀末には半分の6,000万人になってしまいかねないと予測されています。先進国の23カ国がこのような減少傾向ですので、これから先は本当に大変な時代になっていくと思われます。また、アフリカや東南アジアの諸外国の出生率は2人以上であり多い所では6人という出生率ですが、爆発的に人口が増えているわけではありません。これこそがロータリーが掲げるテーマの『母子の健康月間』ということであり、医療体制が整っていない国々をしっかりと支援していくことこそが世界人類全体の安全であり平和な生活につながっていきます。

ポール・ハリスの名言から引用させていただきます。

ロータリーとその子どもたち(いわゆる他の奉仕クラブ)は私たちの選んだ範囲内の社会的進歩にだけ参与するものとみなすことができます。私たちは自らとその活動に対して適正な物の見方ができます。自己満足してはなりません。私たちは逆境ときも順境にあるときも変わらず、平和においても戦時に際しても敢然と事に立ち向かう覚悟がなくてはなりません。思考力を硬直化させてはなりません。私たちはいつまでも成長してやむことはないでしょう。心底からロータリーに関心を抱く人々はこのように信じているのです。世界は絶えず変化しています。そして私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません。ロータリーの物語は何度も何度も書き替えられなければならないでしょう。

(ロータリーの理想と友愛)

我々ロータリアンは一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践していきましょう。

ガバナー補佐・クラブ会長・幹事紹介

第 1 分 区



第 1 分区ガバナー補佐

小森 勇一
(高萩 RC)

茨城県北の海岸地帯、北茨城市、高萩市、日立市を所在地域とする第 1 分区は、7 クラブ 247 名の会員です。1953 年 (昭和 28 年) 日立ロータリークラブが創立されて以来 73 年、日立市に 5 クラブ、高萩、北茨城市に 1 クラブずつと発展してきました。

今年の 2024 - 25 年度は、大高司郎ガバナーを支え、分区会員の皆様一丸となって協力。活動してまいりました。高萩 RC は、55 年の歴史を重ねたとは申しましても、小さなクラブであり、第 1 分区の皆様のご力強いご支援とご協力は、本当に素晴らしいものでした。心から感謝し、御礼を申し上げます。

その大きな活力を引継ぎ発展させていただくよう、

今年度テーマを「輝こうロータリーと共に第 1 分区」と掲げました。皆様に心にとめていただき、

◎ 2820 地区の戦略計画の実現に努めよう。

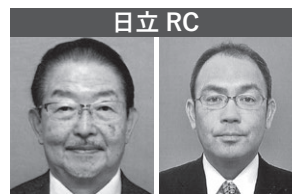
◎ 瀬戸年度の目標を達成しよう。

◎ クラブの行動計画を皆で支えよう。

と、活動していただけたらと願っています。

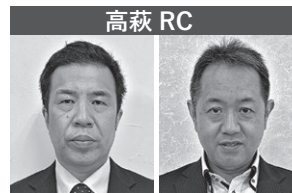
私は、2007 年採択された中核的価値観は重要だと思っています。その 5 項目すべてが大事ですが、第 1 番めに「親睦」が強調されています。昨年度、佐々木幸一ガバナー補佐は「楽しいロータリー」とテーマを掲げました。それを実現しないとうまく進みません。昨年のテーマを発展させることも必要です。そのためにも、長年積み上げてきたクラブの伝統や文化を大事にすることです。具体的には、クラブの戦略計画に明記された、クラブの良い所を伸ばすということと存じます。

しかし、難しい課題もいっぱいです。まず、会員増強ですが、瀬戸年度目標の 8 % 純増では、



日立 RC

会長 戸来 徹 幹事 皆川 康博



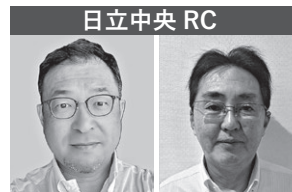
高萩 RC

会長 平野 浩司 幹事 秋山 順弘



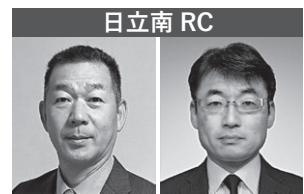
日立港 RC

会長 勝山 起一 幹事 五束 美奈



日立中央 RC

会長 小澤 仁康 幹事 澤島 秀樹



日立南 RC

会長 佐藤 信彦 幹事 千葉 隆一



北茨城 RC

会長 小宅 和彦 幹事 蛭田 豊



日立北 RC

会長 安藤 雅樹 幹事 高木 龍一

20 名超です。現会員を保持しつつ、いかにして魅力的なクラブを作り、自信をもって入会をお願いするかということです。クラブの文化を大切に魅力あるクラブを育みたいと願っております。

分区の皆様のかかわぬご支援ご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第 2 分 区



第2分区ガバナー補佐

野内 厚志
(大子 RC)

2025 - 2026 年度第2分区ガバナー補佐を拝命いたしました大子ロータリークラブの野内厚志です。1991 年入会で 2005-06 年度と 2016-17 年度にクラブ会長を、2014 年から 2 年間地区財団ポリオプラス委員長を務めました。

R I 会長とガバナーそれぞれの方針を分区内に伝達し、地区の指針・目標・情報を共有し活性化のためにクラブを支援するというガバナー補佐の責務を 1 年間努めてまいります。

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ R I 会長のメッセージ「UNITE FOR GOOD」(よいことのために手を取りあおう)と瀬戸隆海ガバナーの地区行動指針「時は今 ところ足元打ち込む命 永久の命」が提唱されました。

マリオ R I 会長のメッセージを要約すると、「年と共にクラブも会員も老化するから若い会員を入会させ続けないとクラブは衰退する」、「ロータリーの財産は会員である」、「会員を増やせば奉仕の力も高まる」と言われるように会員増強が主題だと思われます。

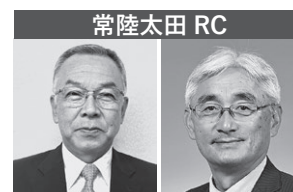
また瀬戸隆海ガバナーの指針は、「この一瞬にしか人は生きていないから一番大切な事柄に全てを打ち込もう」という意味だと個人的に解釈しておりますが、私たちに積極的な活動を促しているものと思われます。さらに瀬戸ガバナーは「ロータリーを大好きになって楽しもう」ともアピールされています。会員同士が一致して積極的に奉仕活動をすることで、快活なロータリーそして楽しいロータリーを手にすることができるのです。

ガバナー補佐には、所属クラブと地区を結び付けそれぞれのモチベーションを高め活性化させる役目があります。そのために、年 4 回の分区内クラブ訪問や会長幹事会・LINE を通じてクラブ会長と情報と目標の共有を図り、そのうえで 4 項目



那珂湊 RC

会長 吾妻 蒼遥
幹事 川崎 誠



常陸太田 RC

会長 成井 小太郎
幹事 小祝 年織



大子 RC

会長 齋藤 靖弘
幹事 福田 智昭



大洗 RC

会長 加部東 孝浩
幹事 小沼 洋道



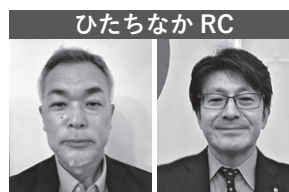
勝田 RC

会長 小橋川 祥
幹事 大津 宣明



東海那珂 RC

会長 猪股 真純
幹事 鶴田 哲男



ひたちなか RC

会長 浅利 英道
幹事 安 幹雄

の「地区数値目標」と 13 項目の「地区活動指針」の達成を目指して所属 7 クラブで互いに協力しあえる効果的な活動を支援して、会員増強と活性化につなげて行きたいと思います。

各クラブの会員の皆さんと共に楽しいロータリーを実現して行く一助を担えればと願っております。

第 3 分 区



第3分区ガバナー補佐

金澤 卓也
(水戸西 RC)

第3分区ガバナー補佐を拝命しました水戸西ロータリークラブ所属の金澤と申します。宜しくお願い致します。

出身は高知県中村市（現四万十市）出身の山猿でございます。

ロータリー歴は28年にならんとしておりますが、地区には現在まで出たことは無く、瀬戸ガバナーやパストガバナー・パストガバナー補佐各位に薫陶を受け、日々勉強中でございます。

RI 会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴのメッセージ「良いことのために手を取り合おう」、また瀬戸ガバナーは「本当にロータリーを大好きになって楽しんでもらう」とも言われております。

これらを念頭に皆様のご協力をお願いし、活発に活動していく所存です。

よろしくご指導のほどお願い申し上げます。

今期の第3分区の目標として、以下の10の目標を挙げました。

- ★1. 第3分区各クラブの会員増強8%を目指す：第3分区会員純増30名
- 2. 衛星クラブの設立：分区内で1クラブ目標
- 3. My Rotary 登録率95%を目指す
- ★4. 第3分区全クラブの「クラブ優秀賞」獲得
- ★5. 3 Year Targets の推進
 - 6. 財団・米山寄付の地区目標達成
 - 7. 地区ポリオ根絶イベントへの協力
- ★8. クラブ戦略計画の推進
 - 9. クラブ細則改定の確認と協力
- ★10. 分区内クラブの情報交換と交流によるクラブの活性化
- ★のついた5つについては重点目標として掲げ、目標達成のために頑張りたいと思います。

特に各クラブの悩みの種である会員増強についてですが、私事ですが、人生において苦境に立った時、3度もロータリアンに救われた経験があります。



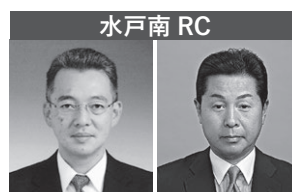
水戸 RC
会長 成田 浩明 幹事 荒川 繁美



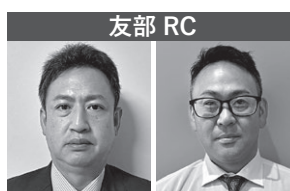
笠間 RC
会長 永田 康弘 幹事 大枝 輝生



水戸西 RC
会長 鯨岡 則雄 幹事 小林 裕明



水戸南 RC
会長 石井 浩一 幹事 川上 英則



友部 RC
会長 遠藤 彰 幹事 和田 隆志



水戸東 RC
会長 磯野 敦義 幹事 飯島 広文



水戸さくら RC
会長 和田公一朗 幹事 井坂 純



水戸好文 RC
会長 友田 みわ 幹事 河野 秀幸



茨城ロータリー E クラブ
会長 徐 佳鋭 幹事 張 朔源

私がロータリークラブに入会した経緯や今ここにガバナー補佐として活動できているのもそのおかげであります。

ロータリアンであることに誇りをもって活動することにより、私もそうですが退会を防止し、新会員の加入促進をするものと思われま。

何卒ご協力をお願い致します。

以上目標を掲げましたが、各クラブより分区へ、分区より地区へとボトムアップをし、さらに分区間とも密接に連絡を取り、情報交換をしてより良い第3分区のクラブにしていきたいと思っております。

なんなりとご意見等をお聞かせいただければ幸いです。

第 4 分 区



第 4 分区ガバナー補佐

塚田 晴夫
(古河 RC)

国際ロータリー第 2820 地区 2025 - 2026 年度瀬戸ガバナー年度第 4 分区ガバナー補佐を拝命いたしました。古河ロータリークラブの塚田晴夫です。

私のロータリー歴は 2004 年の 4 月に入会し 21 年になり、2022～2023 年度第 57 代会長を務めさせて頂きました。

第 4 分区は創立順に古河ロータリークラブ、境ロータリークラブ、岩井ロータリークラブ、古河東ロータリークラブ、古河中央ロータリークラブの 5 クラブで構成されており、各クラブ同士が良い付き合いをしているので楽しみです。

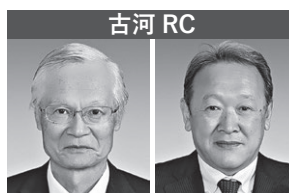
2024 年 12 月 10 日の瀬戸ガバナー年度ガバナー補佐会議からスタートし、2025 年 3 月 16 日第 1 回ガバナー補佐・総括委員長合同会議、3 月 23 日地区チームラーニングセミナー (DTLS)、3 月 29 日会長エレクト研修セミナー (PETS)、4 月 13 日地区研修・協議会 (DTA) に参加してガバナー補佐の責務・役割等を勉強させて頂きました。

RI 会長は会員増強と後継者育成が最も重要と言っておりますし、会員数 2,000 名という地区目標がありますので会員増強と会員維持に頑張りたい。

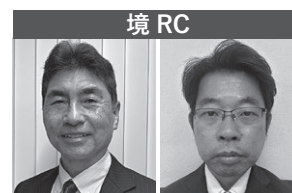
ロータリー財団寄付や米山記念奨学会寄付については地区数値目標を守って頂けるようにお願いします。

ポリオ根絶はロータリーとしての最優先事項と言われています。瀬戸ガバナー年度は筑波でポリオ根絶のピーアール運動を行う予定ですので多くのメンバーの参加をお願いします。

青少年育成事業は未来に担うリーダーの育成に務めるという事でインターアクト・RYLA・稚少年交換への支援及び協力を強化して下さい。



古河 RC
会長 宮内 則雄 幹事 熊木 義一



境 RC
会長 櫻井 幹也 幹事 久松 伸一



岩井 RC
会長 上坂 理一 幹事 平林 幸恵



古河東 RC
会長 福田 優子 幹事 大谷 祥寛



古河中央 RC
会長 矢澤 啓次 幹事 鈴木日出夫

RLI (ロータリーリーダーシップ研修会) はロータリーにおける最大の指導力育成プログラムです。ロータリー活動の理解を深め、活力あるクラブ創設につながるように参加推進をお願いします。

メイクアップは他クラブの情報・会員との交流・そして気付きがあります。特に新しく入会した会員や 3 年未満の会員をメイクに連れて行って下さい。

My ROTARY の登録は地区目標の 85% を目指してください。また、ロータリーの情報源でもあるので活用して、資質向上につなげて頂きたいです。

瀬戸ガバナー年度に出された目標達成の実現に向けて分区内の各クラブをサポートし、会長・幹事をはじめ会員の皆様と楽しいロータリーの活動を共にしていければと思っています。

一年間よろしくお願いします。

第 5 分 区



第5分区ガバナー補佐

野寺 孝
(筑西きぬ RC)

2025-26年第2820地区度瀬戸ガバナーの下、第5分区ガバナー補佐を拝命致しまして光栄に思います。私はロータリー活動16年になります。クラブの先輩からは、「いやと言うなよ、ロータリアン」と教えられてきました。今までのロータリー活動とは、別な立場での活動に身の引き締まる思いです。ガバナー補佐としての責任を果たす為には、ロータリーの目的・精神の由来・またロータリーの基本的なルールをもう一度、改めて考え直す絶好のチャンスとプラス思考に考えております。

さて、瀬戸ガバナーは行動指針を「時は今 ところ足元 そのことに 打ち込む命 永久の御命」と示しています。私自身も今、何が大切かと考え第5分区下館ロータリークラブ、結城ロータリークラブ、真壁ロータリークラブ、下妻ロータリークラブ、しもだて紫水ロータリークラブ、筑西きぬロータリークラブ、下館さくらロータリー衛星クラブ、下妻さぬま湖畔ロータリー衛星クラブ、下館ローターアクトクラブ計6クラブ2衛星クラブ1アクトクラブの皆様と、この一瞬をできる限り努力し会長・幹事様と手を取り合って会議や連絡を密に取りロータリーの祈願でもあるポリオ根絶活動にはご理解とご協力を頂けるよう分区内クラブ訪問の際には募金活動への積極的な参加及びポリオ・プラス・ソサエティーへの一人でも多くの協力を呼びかけてまいります。更に、アシスタントガバナーとしての最重要課題「会員増強」に全力投球する事はもちろん、全クラブが地区数値目標を達成し「クラブ優秀賞」を獲得出来るようにサポートして参りたいと思います。

また、地区各委員会が掲げます事業計画が各クラブへと浸透して行くように地区の事業計画へ協力して頂けるようクラブ訪問の際などで呼びかけ



下館 RC
会長 堀江 勤 幹事 塚田 砂与



結城 RC
会長 齋藤 章 幹事 富田 昌宏



真壁 RC
会長 石田 吉治 幹事 白田 唯雄



下妻 RC
会長 杉田 渉 幹事 端 敦宣



しもだて RC
会長 高田 昌明 幹事 間々田涼平



筑西きぬ RC
会長 奈良沢克也 幹事 鈴木 宇子

して行きます。

IMに付きましては、第5分区池田正純IMリーダーのご指導を仰ぎ、分区内各クラブが主体のIM「我がクラブ自慢」を開催したいと考えています。

最後に、私自身が学ばなくては行けない事が沢山あると思いますが、精一杯努力して活動して参りたいと思います。どうか一年間宜しくお願い致します。

第 6 分 区



第 6 分区ガバナー補佐

大堀 健二
(つくば学園 RC)

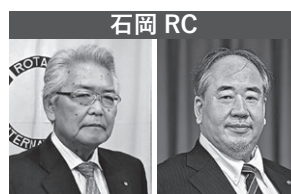
2025-26年度第6分区ガバナー補佐を拝命しました、つくば学園ロータリークラブ所属の大堀健二です。2022-23年度にクラブ会長を務めました。地区への出向経験はロータリー財団委員会と国際奉仕委員会で主にロータリー財団奨学生を担当しておりました。

第6分区内には創立順に、石岡ロータリークラブ、土浦ロータリークラブ、土浦南ロータリークラブ、つくば学園ロータリークラブ、石岡87ロータリークラブ、土浦中央ロータリークラブ、つくばシティロータリークラブ、阿見ロータリークラブ、つくばサンライズロータリークラブの9クラブになります。

その他土浦ローターアクトクラブ、土浦南ローターアクトクラブ、つくば学園ローターアクトクラブ、本年3月に設立例会を行ったつくば学園ユースロータリーサテライトクラブがあります。

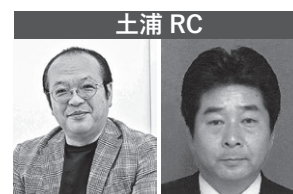
マリオRI会長のメッセージ『よいことのために手を取りあおう (UNITE FOR GOOD)』のもと、瀬戸ガバナーの地区行動指針『時は今 ところ足元 そのことに 打ち込む命 永久の御命』により、以下の目標を重点課題として、地区目標達成に向けて各クラブのサポートを行いたいと思います。

- ① 8%の会員増強
- ② マイロータリー登録率85%以上の登録
- ③ クラブ優秀賞の全クラブ獲得
- ④ ロータリー財団寄付及びPPS加入促進
- ⑤ 米山記念奨学金寄付
- ⑥ 地区補助金の活用
- ⑦ RYLAへの積極的参加
- ⑧ 4回の会長幹事との分区協議会開催
- ⑨ 10月10日に筑波東急ゴルフクラブにて親睦ゴルフの開催



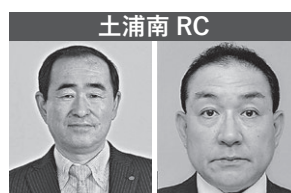
石岡 RC

会長 潮田多計士
幹事 高橋 恒士



土浦 RC

会長 平島 隆之
幹事 藤澤 昭彦



土浦南 RC

会長 杉田 一男
幹事 山口 裕由



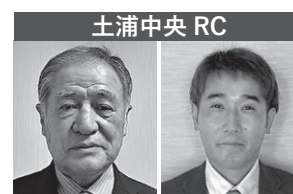
つくば学園 RC

会長 高田 稔美
幹事 五十嵐 徹



石岡 87RC

会長 竹内 盛恭
幹事 大和田寛樹



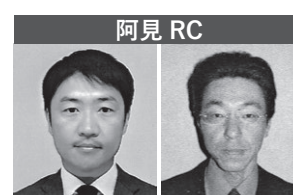
土浦中央 RC

会長 国分 貢
幹事 二宮 靖幸



つくばシティ RC

会長 鈴木 潤
幹事 大島 茂久



阿見 RC

会長 吉田 貴洋
幹事 芹田 幸夫



つくばサンライズ RC

会長 雨宮 淳
幹事 伊賀 秀文

⑩ 1月31日に大高 IM リーダーにご指導頂き IM を開催

2025-26年度が地区委員の皆様のご協力のもと、9クラブが会長をはじめとする会員皆様にとって実りある一年にしていきたいと思っています。

皆様のご協力をお願いし挨拶と代えさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

第 7 分 区



第7分区ガバナー補佐

中村 康博
(牛久 RC)

2025-26 年度の 第 7 分区ガバナー補佐に任命された中村康博です。第 7 分区は竜ヶ崎 RC、水海道 RC、取手 RC、牛久 RC、守谷 RC、龍ヶ崎中央 RC の 6 クラブ 153 名の会員で構成されています。

ガバナー補佐の方針としましては、一言で言いますと、“イエスマンに徹するです” ご存知の如く、毎年 RI 会長から新年度の方針、それに基づいて地区ガバナーの方針、が我々会員へ出されます。それらの方針を正確に各クラブの会長へ伝達して、共有しなければ、ロータリアン全員が行う奉仕活動、行動が社会に対して本当の貢献にならないと思います。

又、各会員の悩み、不満、希望、夢、等々いろんな現実の問題を、各会長からお聞きして、そのままガバナーへ報告しようと思っております。

私の所属する牛久 RC の事で、恐縮ですが、40 周年を迎えます。設立当初より現在まで続いている、米山奨学生（筑波大学、中華民国）との交流事業です。チャーターメンバーの園部、根本会員を中心に今でも野球の試合を通じての相互訪問等々です。この事業は 米山、国際奉仕、職業奉仕、それに社会奉仕全てが、網羅されているロータリー奉仕活動の実例だと思います。当時のメンバーはおじい様、ひいおじい様になりましたが、これから先も継続事業として、頑張っておられます。

まさに継続は力なりの実例だと思います。

2820 地区の各クラブにはいろんな継続事業が続いていると思います、それらをガバナーよりお聞きして、第7分区の各会長へ伝達し、参考にして頂き、更なる奉仕活動を進めて頂きたくおもいます。



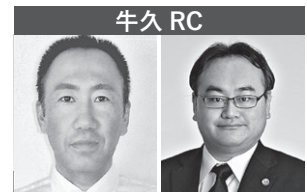
竜ヶ崎 RC
会長 西村 秀明 幹事 倉沢 南州



水海道 RC
会長 石井 康弘 幹事 古矢 満



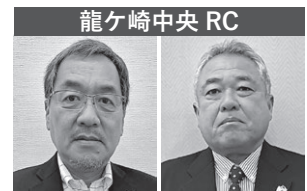
取手 RC
会長 宇田川 滋隆 幹事 長谷 豊



牛久 RC
会長 安藤 修麻 幹事 白岩 大樹



守谷 RC
会長 片桐 武美 幹事 橋本 秀明



龍ヶ崎中央 RC
会長 大原 浩行 幹事 川上 勉

最後になりましたが、第 7 分区の皆様、私の身体は老体になりましたが、気だけは若いつもりですので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

第 8 分 区



第 8 分区ガバナー補佐

内野 芳男
(鹿島中央 RC)

ロータリー歴:入会日1997年7月4日
2002~03 幹事
2006~07 2021~02 会長
財団 PHF 2回 BF 1回 米山功労者 2回
鹿嶋市内で燃料油全般及びプロパンガス販売、(株)鹿島
製油代表取締役

【銚田ロータリークラブ】

会 長 田口裕之
ロータリー歴:入会日2019年11月12日
2022~23 幹事
PHF 1回 米山功労者 1回
(有)田口造花店 代表取締役 セレモニーホール経営
幹 事 重藤憲治

ロータリー歴:入会日 2006年1月1日

2010~11 幹事

2013~14 会長

PHF 2回 米山功労者 3回

コンサルティング

【鹿島臨海ロータリークラブ】

会 長 栗林 豊
ロータリー歴:入会日1990年3月1日
1996~97 2021~22 幹事
2017~18 会長
PHF 6回 BF 1回 米山功労者 5回
税理法人タックス・イバラキ 代表社員 会長
幹 事 佐藤雅史

ロータリー歴:入会日2023年2月1日

佐藤セレモニー営業開発室室長・神栖市国際交流会会長

【玉造ロータリークラブ】

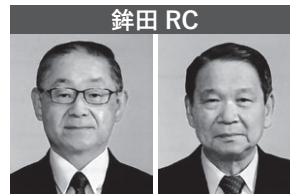
会 長 荒井 一美
ロータリー歴:入会日2001年7月27日
2023~24 ガバナー補佐
2005~06 2020~21 2025~26 会長
2003~04 幹事
PHF 4回 BF 1回
建築設計事務所他2社事業継承 現在設計・施工の法人
代表取締役

幹 事 塙 真樹

ロータリー歴:入会日2023年5月15日

2024~25 幹事

関川畳商店 常務取締役 4つのテストに感銘を受け
入会



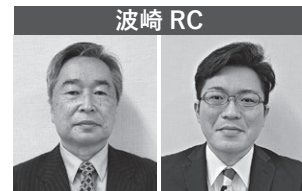
銚田 RC
会長 田口 裕之 幹事 重藤 憲治



鹿島臨海 RC
会長 栗林 豊 幹事 佐藤 雅史



玉造 RC
会長 荒井 一美 幹事 塙 真樹



波崎 RC
会長 安藤 寿博 幹事 高橋 佑至



鹿島中央 RC
会長 内田 敬子 幹事 笹本 辰男

【波崎ロータリークラブ】

会 長 安藤寿博
ロータリー歴:入会日2009年12月10日2023~24
会長

2021~22 幹事

PHF 米山功労者(マルチプル) 特別寄付

幹 事 高橋佑至

ロータリー歴:入会日2015年6月1日

2021~22 会長

2017~18 幹事

PHF・米山功労者・特別寄付

神栖市市議会議員

【鹿島中央ロータリークラブ】

会 長 内田敬子

ロータリー歴:入会日2018年10月10日

2023~24 幹事

ホテル古保里 総支配人

幹 事 笹本辰男

ロータリー歴:入会日1995年4月20日

2007~08 2023~24 会長

2000~01 幹事

PHF 2回 BF 1回 米山功労者 3回

笹本石材(株)取締役会長 鹿嶋市商工会会長

ローターアクト

2025-2026 年度国際ロータリー第 2820 地区 RA 紹介

2024-2025 年度 国際ロータリー第 2820 地区

ローターアクト代表エレクト **水村 成也**

日頃より地区ローターアクト活動にご支援賜りましてありがとうございます。

2025-2026 年度地区ローターアクト代表を務めます、土浦南ローターアクトクラブ所属の水村成也と申します。

2024-2025 年度では、地区内のアクター（ローターアクトクラブに所属している人を指す）は他地区行事にも熱心に参加していただきました。

仙台市で開催された第一エリア会議には 4 名参加しました。そこでは RAC の虎グランプリの選考がありました。惜しくも選ばれませんでした。第一エリア内での活発な会議に 4 名参加出来たことは今後のアクト活動の励みになったと思っております。

10 月に開催されたポリオ根絶イベント IN 笠間稲荷神社では、水戸 RAC 主導のもとフリーマーケットや、催事イベントを行いました。普段交流ができない地区内の他クラブのロータリアンの皆様とも交流が深められた事や、何よりポリオ根絶活動に協力できたことは有意義な時間になりました。

また、4 月には 2024-2025 年度は 11 年ぶりに茨城で第 36 回関東ブロック研修会が 2 日間にわたり開催されました。自地区ロータリアンの皆様に卓話をしていただき、その内容をもとに本研修会のテーマである【不足】パワーアップについてディスカッションしていただきました。11 地区のアクターが集結しディスカッションしている姿は今後のローターアクトはさらに発展すると思わせてくれるほど参加していただいた皆様が積極的にディスカッションに参加してくださいました。

年次大会との日程が近い中、各クラブメンバーと協力して開催できたことは 2820 地区ローターアクトの力はまだまだ無限大だと再認識できました。

5 月には第 34 回年次大会を開催することが出来ました。2023-2024 年度から他地区行事や他地区地区大会に積極的に参加していたこともあり、参加して下さった他地区の皆様からは好評の声を頂きました。

2025-2026 年度、年次大会は 4 月に開催予定しております。

地区大会はローターアクトクラブの活動を多くの方に知っていただく貴重な機会になります。是非ともローターアクトクラブとのあまり関わりが無かったロータリアンの皆様にも参加していただけると幸いです。

今後とも地区ローターアクトをどうぞよろしくお願いいたします。

衛星クラブ

鹿島臨海令和ロータリー衛星クラブ

古河東ゆきはなロータリー衛星クラブ

下館さくらロータリー衛星クラブ

下妻さぬま湖畔ロータリー衛星クラブ

高萩渚ロータリー衛星クラブ

つくば学園ユースロータリー衛星クラブ

常陸太田 Shine ロータリー衛星クラブ

日立北さくらロータリー衛星クラブ

境利根川ロータリー衛星クラブ

阿見霞ヶ浦ロータリー衛星クラブ

2025 - 2026 年度 国際ロータリー第 2820 地区 ガバナー公式訪問に関するお願い

ガバナー 瀬戸 隆海

公式訪問は、年間予定表（次頁参照）の通り 2025 年 7 月 9 日（水）から始まります。貴クラブへの訪問を実り多きものとするために、次のことをご準備、お手配くださいますようお願い申し上げます。

1. 公式訪問の際の必要書類

クラブ現況報告書

「公式訪問のためのクラブ現況報告書記載要領（後頁 6）に準拠して作成の上、訪問日の 3 週間前までにガバナー事務所へ 3 部（ガバナー、ガバナー事務所、ガバナーエレクト 事務所へ各 1 部お渡しします）所属分区ガバナー補佐へ 1 部お送りください。

2. 公式訪問の日程について

クラブ活動実施場所等の見学 10:00～11:00

クラブ懇談会 11:00～12:00

例会出席 12:30～13:30

クラブ協議会 14:00～16:00

* 公式訪問において懇親会・お土産はご遠慮させていただきます。

備考

- (1) 公式訪問は原則として日帰りを予定しております。宿泊の際には、後日ご相談致します。
- (2) クラブ例会には、多くの会員の出席を奨励してください。
- (3) クラブ懇談会の出席者は、基本的にクラブ会長・会長エレクト・幹事とします。
- (4) クラブ協議会の出席者において、クラブ理事、役員及び各委員長（欠席の際は副委員長または代理者）義務出席です。特に入会 3 年未満の会員は原則として出席させてください。
- (5) クラブ協議会の司会は会長がお務めください。
- (6) 当日の日程スケジュールが出来ましたら、事前にガバナー事務所までお知らせください。
ただし、集合時間・場所につきましては、1 ヶ月前のご連絡をお願いいたします。

ガバナー事務所より、公式訪問の報告に関するお願い

ガバナー事務所より、今年度の月信に掲載いたします ガバナー公式訪問の報告文書は、写真のみの掲載することと致しました。

つきましてはこちらから原稿を依頼した際は 公式訪問の模様の写真を 5 枚程度 お送りください。

もし、コメントを付けたい場合は最大 100 文字以内でお願いします。

2025-2026年度 国際ロータリー 第2820地区 瀬戸年度地区組織図



○委員長

クラブ奉仕担当カウンセラー	奉仕P担当カウンセラー	青少年奉仕担当カウンセラー	ローターアクト担当カウンセラー	ロータリー財団担当カウンセラー	米山奨学会担当カウンセラー
大久保博之 (水戸)	高橋 賢吾 (水戸西)	池田 正純 (牛久)	中村 澄夫 (東海那珂)	大野 治夫 (つくば学園)	大高 司郎 (高萩)
クラブ奉仕 総括委員長 井上 誠 (下妻)	職業奉仕 総括委員長 安 圭一 (水戸)	青少年奉仕 総括委員長 宇留野秀一 (水戸南)	ローターアクト 総括委員長 塚越 俊祐 (つくば学園)	ロータリー財団 総括委員長 大野 治夫 (つくば学園)	米山記念奨学会 総括委員長 岩田 光造 (水戸東)
会員増強 ○熊木 善一 (古河)	中村 潤 (古河中央)	インターアクト ○柴沼 博之 (土浦南)	有金 重幸 (日立中央)	ポリオプラス ○関 康彦 (水戸)	米山寄付増進 ○草野 朋子 (常陸太田)
片岡 宗厳 (水戸)	征矢 亘 (日立)	石井 秀明 (東海那珂)	横須賀 靖 (水戸)	倉持 悦子 (しもだて紫水)	江田 治雄 (下妻)
新井 誠 (しもだて紫水)	片桐 武美 (守谷)	塙 主税 (水戸西)	楠 英夫 (土浦南)	木村 英博 (つくば学園)	斉藤 百合子 (古河)
篠原 純一 (境)	荒野 吉生 (鉾田)	山西 裕 (水戸)	皆葉 真治 (つくば学園)	鐵屋 竜朗 (つくばシティ)	米山学友 ○藤澤 昭彦 (土浦)
衛星クラブ担当 杉山 吉彦 (下館さくら衛星)	社会奉仕 総括委員長 黒木 雅宏 (水戸西)	野口 均 (しもだて紫水)	飯田 大樹 (古河中央)	資金管理・推進 秋葉 良孝 (水戸)	張 朔源 (茨城RE)
リユー クイン ガー (下妻さぬま湖畔衛星)	研究会担当 小野 智久 (日立)	菅原 光雄 (日立港)	杉山 吉彦 (下館さくら衛星)	八木 健二 (日立)	高野 和彦 (土浦南)
山田 広美 (下妻さぬま湖畔衛星)	地区補助金担当 根本 ひろ美 (水戸東)	青少年並びにライラ ○渡部 俊介 (石岡87)	水村 成也 (土浦南 RAC)	瀬戸口 進 (つくば学園)	米山選考 ○佐谷 道造 (古河東)
クラブサポート ○鈴木 敏雄 (古河)	川島 紀文 (牛久)	鈴木 淑登 (高萩)		補助金担当 ○菊池 泰正 (土浦)	中山 眞矢 (水戸西)
和泉 好一 (土浦南)	奉仕事業担当 關本 淳一 (土浦)	広瀬 貴之 (つくば学園)		地区補助金担当 ○椿 眞里 (北茨城)	前田 成子 (玉造)
緒方 惟文 (水戸東)	国際奉仕 総括委員長 村上 義孝 (つくば学園)	石塚 徹 (水海道)		申請 清藤 豊 (水戸東)	
公共イメージ・ICT推進 ○林 正太郎 (水戸)	WCS・グローバル補助金担当 国際交流奨学金担当 松本 幸子 (古河東)	青少年交換 ○軽部 守彦 (下妻)		申請補 池田 一郎 (つくば学園)	
滝 徳宗 (高萩)	国際交流共同担当 フィリピン担当 柴山 博光 (友部)	飯泉 智弥 (つくば学園)		グローバル補助金担当 ○尊田 京子 (つくばサンライズ)	
松野 祐介 (水戸さくら)	タイ担当 録田 幸裕 (水戸南)	中庭 浩実 (水戸南)		人道支援 中野 勝 (つくば学園)	
山崎 哲男 (水海道)	ネパール担当 中島 賢一 (土浦)	藤木 章吉 (しもだて紫水)		奨学金・学友 田上 悟史 (水戸西)	
富岡 致知 (下妻)				VTT担当 岡村 太郎 (水戸南)	
				ロータリー平和フェローシップ ○木村 英博 (つくば学園)	
				ロータリーカード推進 ○白岩 大樹 (牛久)	

2025-2026年度 国際ロータリー第2820地区

地区資金予算書

A. 収入の部

(単位:円)

科 目	2025-26 年度 (1,900 名)	2024-25 年度 (1,900 名)	前年度比較増	2023-24 年度 (予) (1,900 名)	2023-24 年度 (実)	備 考
前 期 繰 越	200,000	3,400,000	▲ 3,200,000	6,651,000	4,000,000	
地区資金受入額	7,676,000	11,267,000	▲ 3,591,000	9,937,000	9,915,980	4,040 × 1,900名
地区大会余剰金	0	0	0	0	0	
規定審議会旅費積立取崩	0	600,000	▲ 600,000	0	0	
災 害 見 舞 取 崩	0	0	0	0	100,200	
地区年鑑積立金取崩	0	0	0	0	0	
地区運転資金準備金	7,000,000	0	7,000,000	0	4,000,000	
雑 収 入	0	0	0	0	30,090	
合 計	14,876,000	15,267,000	▲ 391,000	16,588,000	18,046,270	

B. 支出の部

(単位:円)

科 目	2025-26 年度 (1,900 名)	2024-25 年度 (1,900 名)	前年度比較増	2023-24 年度 (予) (1,900 名)	2023-24 年度 (実)	備 考
1. 委員会活動費等						
ク ラ ブ 奉 仕	700,000	700,000	0	800,000	643,127	
(会 員 増 強)	0	0	0	0	0	
(ホームページ管理料)	0	0	0	0	0	
奉仕プロジェクト	260,000	260,000	0	0	0	
職 業 奉 仕	0	0	0	80,000	0	
社 会 奉 仕	0	0	0	2,500,000	2,586,370	
国 際 奉 仕	0	0	0	80,000	58,077	
(友好地区担当)	100,000	100,000	0	100,000	0	
青 少 年 奉 仕	200,000	1,180,000	▲ 980,000	180,000	145,342	
ローターアクト	100,000	100,000	0	0	0	
ロータリー財団	1,300,000	300,000	1,000,000	300,000	266,732	
米山記念奨学会	180,000	180,000	0	180,000	0	
ロータリーの友	50,000	50,000	0	50,000	0	
戦略計画委員会	100,000	100,000	0	100,000	0	
危機管理委員会	100,000	100,000	0	100,000	30,000	
諮 問 委 員 会	600,000	600,000	0	600,000	718,420	
地区ラーニング委員会	100,000	100,000	0	100,000	0	
ガバナー補佐会議	300,000	300,000	0	300,000	182,616	
地区委員長会議	100,000	100,000	0	100,000	0	
R L I	300,000	300,000	0	300,000	291,546	
学 友 委 員 会	250,000	250,000	0	250,000	174,376	
地区立法案検討会	100,000	0	100,000	0	37,060	
小 計	4,840,000	4,720,000	120,000	6,120,000	5,133,666	

(単位:円)

科 目	2025-26 年度 (1,900 名)	2024-25 年度 (1,900 名)	前年度比較増	2023-24 年度 (予) (1,900 名)	2023-24 年度 (実)	備 考
2. 補助金						
地 区 大 会	720,000	800,000	▲ 80,000	800,000	800,000	
地区研修・協議会	650,000	650,000	0	500,000	500,000	
次期会長研修会	250,000	250,000	0	250,000	250,000	
I M	400,000	400,000	0	400,000	400,000	50,000×8 区分
会 長・幹 事 会	400,000	400,000	0	400,000	157,329	
環境保全活動費	0	0	0	0	0	
次期ガバナー旅費	800,000	800,000	0	800,000	800,000	
ガバナー補佐活動費	1,080,000	1,100,000	▲ 20,000	1,650,000	1,620,000	20,000×54RC
親睦活動費(野球・ゴルフ)	50,000	50,000	0	50,000	50,000	
規定審議会旅費	0	600,000	▲ 600,000	0	0	
小 計	4,350,000	5,050,000	▲ 700,000	4,850,000	4,577,329	
3. 寄付金・その他						
ロータリー文庫運営費	380,000	570,000	▲ 190,000	570,000	373,000	200×1,900 名
全国ガバナー会費	760,000	760,000	0	760,000	1,134,035	400×1,900 名
平和奨学生支援金	57,000	38,000	19,000	38,000	0	30×1,900 名
旅 費	1,500,000	1,500,000	0	1,500,000	319,940	
慶 弔 費	100,000	100,000	0	100,000	80,000	
登 録 料	2,200,000	2,000,000	200,000	2,000,000	2,290,156	
監 査 費	30,000	30,000	0	30,000	30,000	
年次報告書作成費	350,000	350,000	0	350,000	302,515	
全国ローターアクト研修会 積立金	0	0	0	0	0	
災 害 見 舞 金	0	0	0	0	100,200	
地 区 年 鑑	0	0	0	0	230,000	
寄 付 金	0	0	0	0	0	
雑 費	100,000	70,000	30,000	70,000	0	
小 計	5,477,000	5,418,000	59,000	5,418,000	4,859,846	
4. 予 備 費						
	209,000	79,000	130,000	200,000	0	
合 計	14,876,000	15,267,000	▲391,000	16,588,000	14,570,841	

2025-2026年度 国際ロータリー第2820地区

基金及び協力金予算書

(単位:円)

科 目	2025-26 年度 (1,900 名)			2024-2025 年度 (予)	2023-2024 年度 (予)	2023-24 年度 (実)	
	一人当り	収 入	支 出	収 入	収 入	収 入	支 出
会 員 数	1,900 名			1,900 名	1,900 名		
ガバナー月信協力金	2,880	5,472,000		5,168,000	5,168,000	5,159,840	4,403,167
地 区 大 会 負 担 金	2,000	3,800,000		5,700,000	7,600,000	7,588,000	7,500,000
ガバナー事務所協力金	9,630	18,297,000		11,134,000	7,980,000	7,967,400	14,835,240
青 少 年 交 換 基 金	1,600	3,040,000		3,800,000	3,800,000	3,794,000	3,068,329
インターアクト基金	640	1,216,000		1,520,000	1,520,000	1,517,600	1,227,331
ローターアクト基金	640	1,216,000		1,520,000	1,520,000	1,517,600	1,227,331
ラ イ ラ 基 金	320	608,000		760,000	760,000	758,800	613,666
青 少 年 育 成 基 金	170	323,000		380,000	380,000	379,400	5,000
国際交流共同基金	50	95,000		190,000	532,000	531,160	0
W C S 基 金	0	0		190,000	380,000	379,400	0
国 際 交 流 基 金	40	76,000		190,000	1,900,000	1,897,000	0
ロータリー財団基金(奨学生)	100	190,000		190,000	532,000	531,160	0
地域環境保全グローバル	0	0		0	0	0	0
地 区 年 鑑 積 立	40	76,000		76,000	76,000	75,880	75,880
災 害 見 舞 金	0	0		0	0	0	0
危 機 管 理 基 金	200	380,000		380,000	380,000	379,400	379,400
規定審議会旅費積立金	90	171,000		171,000	171,000	170,730	170,730
小 計	18,400	34,960,000		31,369,000	32,699,000	32,647,370	33,506,074
繰 越						37,784,076	
合 計	18,400	34,960,000		31,369,000	32,699,000	70,431,446	33,506,074

科目間の流用は可とする

2025-2026年度 国際ロータリー第2820地区

送金カレンダー

(単位:円・ドル)

区分 NO.	内 訳	会 員			新会員		1件の金額	記 事	送金先
		一人当り会費			在籍月分	在籍月分			
		前 期 7月1日	後 期 1月1日	年度計	1月当たり	1月当たり			
A1	人 頭 分 担 金	\$41.00	\$41.00	\$82.00	在籍月数の請求に応じて			決められたレートで 1月1日、7月1日現在の 会員数に基づく	銀行名 三井住友銀行 新宿通支店 口座名 国際ロータリー 日本事務局 口座番号 普通預金 6733244
	規 定 審 議 会 追 加 費	\$1.00		\$1.00					
A2	ロータリーマガジン購読料	\$18.00	\$18.00	\$36.00					
A3	R I 文 庫								口座番号 普通預金 6733244 後頁の振替口座一覧参照
A4	ロータリー財団篤志寄付							フェロー等個人寄付	
A5	同 ク ラ ブ 寄 付							ミリオンダラー等	
B1	米山奨学会普通寄付	2,500以上	2,500以上	5,000以上					銀行名 三井住友銀行 京橋支店 (財)ロータリー 米山記念奨学会 口座番号 普通預金 0920373 TEL 03-3434-8681 FAX 03-3578-8281
B2	同 特 別 寄 付							米山功労者個人寄付	
B3	同 ク ラ ブ 寄 付							米山月間等にご協力ください	
C1	ロータリーの友購読料	1,650	1,650	3,300				他のPR用にもご注文下さい	銀行名 三井住友銀行 浜松町支店 (社)ロータリーの友事務所 口座番号 普通預金 7450015 問合せ先 ロータリーの友事務所 TEL 03-3436-6651 FAX 03-3436-5956
C2	同 英 語 版 購 読 料							2016年より休刊	
C3									
C4	ロータリー手帳								問合せ先 〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町3386 釜久ビル3F 2025-2026年度 瀬戸隆海ガバナー事務所 TEL 0297-21-3655 FAX 0297-21-3654 E-mail: 25-26@rid2820.jp
C5	そ の 他 出 版 物								
	A ~ C 合 計							消費税・送料別途	
D1	地 区 資 金	2,020	2,020	4,040					銀行名 常陽銀行 水海道支店 口座名 国際ロータリー 第2820地区 会計長 倉持功典 口座番号 普通預金 1772311
D2	ガバナー月信協力金	1,440	1,440	2,880					
D3	地区大会分担金	1,000	1,000	2,000					
D4	ガバナー事務所協力金	4,815	4,815	9,630					問合せ先 〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町3386 釜久ビル3F 2025-2026年度 瀬戸隆海ガバナー事務所 TEL 0297-21-3655 FAX 0297-21-3654 E-mail: 25-26@rid2820.jp
D5	青少年交換機金	800	800	1,600					
D6	インターアクト基金	320	320	640					
D7	ローターアクト基金	320	320	640					問合せ先 〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町3386 釜久ビル3F 2025-2026年度 瀬戸隆海ガバナー事務所 TEL 0297-21-3655 FAX 0297-21-3654 E-mail: 25-26@rid2820.jp
D8	ライラ基金	160	160	320					
D9	青少年育成基金	85	85	170					
D10	国際交流共同基金	25	25	50					問合せ先 〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町3386 釜久ビル3F 2025-2026年度 瀬戸隆海ガバナー事務所 TEL 0297-21-3655 FAX 0297-21-3654 E-mail: 25-26@rid2820.jp
D11	W C S 基金	0	0	0					
D12	国際交流基金	20	20	40					
D13	ロータリー財団基金(奨学金)	50	50	100					問合せ先 〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町3386 釜久ビル3F 2025-2026年度 瀬戸隆海ガバナー事務所 TEL 0297-21-3655 FAX 0297-21-3654 E-mail: 25-26@rid2820.jp
D14	地区年間積立金	20	20	40					
D15	災害見舞金	0	0	0					
D16	危機管理基金	100	100	200					問合せ先 〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町3386 釜久ビル3F 2025-2026年度 瀬戸隆海ガバナー事務所 TEL 0297-21-3655 FAX 0297-21-3654 E-mail: 25-26@rid2820.jp
D17	規定審議会旅費積立金	45	45	90					
	D 1 ~ D 1 7 合 計	11,220	11,220	22,440	1,870	1,870			
E1	地区大会登録料	ホストクラブから各クラブに請求された金額							ホストクラブ指定の 預金口座へ
E2	地区研修・協議会登録料								
E3	I M 他 会 合 登 録 料								
E4	P E T S 登 録 料								

注) 1. 整理の都合上、各種ご送金は必ず専用の送金明細書をご記入の上、ガバナー事務所及び国際ロータリー日本事務局経理室へ FAX でご連絡ください。

2. 新会員の会費について

国際ロータリー細則第 18 条 (18.040.2) 比例人頭分担金に沿うため、地区の会費についても入会日に応じた会費を前期分は 12 月中に、後期分は 6 月中にお振込みください。

(例) 7 月 1 日入会者は、6 か月分。7 月 2 日～8 月 1 日入会者は 5 か月分。8 月 2 日～9 月 1 日入会者は 4 か月分。

地区会計長 倉持 功典

ガバナー時代 回 顧 録



1998 ～ 99 年度国際ロータリー
第 2820 地区 パストガバナー

諮問委員 埴 東男

第 2820 地区の全ロータリアンの皆様、ガバナー時代におきましては、ご協力、ご指導、ご鞭撻、誠にありがとうございました。当時「ロータリーの夢を追いつづけよう」とのジェームス L. レイシー R.I. 会長の提言のもと、皆様とともにロータリーを学び、行動して、「ロータリーの夢」を追いつづけてまいりました。しかし、顧みますと反省することの方が多く、どれだけ皆様とともに「夢」を語り合えたのだろうか、「夢」に迫りえただろうかと、ただ自問するばかりです。

1 年間の活動を通じて感じたことを、いくつかあげさせていただきますと、第一はよりいっそう地域に密着した活動の必要性です。国際ロータリー 1998 - 99 年度第 3 回定例理事会の決定により、「拡大および大都市地域内での地理的な割り当てに関する 1995 年度の方針を捨て、地域社会とより密接に関連づけられるために、地理的な区域内で拡大活動に取り組むよう」、クラブに奨励されました。各クラブの基盤である区域限界にさらに太く根を張って、地域社会の関心事に立ち向かってください。

第二には、もっと世界に目を向けることの必要性です。未だに世界各地で紛争が絶えず、住んでいる土地を追われたり、病気や飢え、貧困に苦しんでいる人たちがたくさんいます。また、自然災害で家や財産、家族を失った人たちもいます。地域社会への関心と同様、世界中のこれからの人たちにも関心を注いでください。

第三は、会員拡大です。機会あるごとにお話ししてまいりましたが、ロータリーの基本は、「友愛」と「奉仕の精神」「思いやりの心」に満ちた会員にあります。ロータリーがより強く、より大きくなるためにも、会員増強によりいっそう努めてくださいますようお願いいたします。

ロータリーのテーマは単年度が原則ですが、その根底には共通した大きな流れがあるように思います。1998 - 99 年度の経験と反省が、今後に少しでもお役に立てればと願うばかりです。皆様にはどうかご自身の職業奉仕を全うされ、さらに素晴らしい活動をされますことをお祈りいたします。どうもありがとうございました。

ガバナー時代 回 顧 録



2000 ～ 2001 年度 2820 地区
2028 地区パストガバナー

諮問委員 吉岡 昭文

私のロータリーへの挑戦

2000 ～ 2001 年度 2820 地区でのガバナーを仰せつかりました。スタートする前には大変に急迫な責任感であり、今考えますと良くも乗り越えられたものだと思います。

しかしながら、一旦お引受けるからには我がクラブ会員、地区内のロータリアンの皆様にご迷惑をお掛けすることは我がプライドに於きましても出来ません。期待に答えるにはどうすべきを真剣になったことを思い出します。

私は、20 歳代より土浦青年会議所を経験し、土浦ロータリークラブに二年間お世話になり、つくば学園ロータリークラブ創立会員として移籍いたしました。私のガバナー年度はつくば学園ロータリークラブ 15 周年時でロータリーを勉強中でもあり、ロータリーリーダーとして経験不足の時でもありましたので、土浦ロータリークラブの先輩の方々にご指導をと考えました。それから一番大事なことである我がクラブのチームワークを若いメンバーに協力を依頼しました。

私の家業である旅館は、当時県内に 950 軒を持って組織され、ホテル旅館協同組合として活動しておりました。各時、地域社会では古い歴史を持って影響力を維持しておりました。訪問の折には、暖かいご支援の約束をお願いいたしました。

ロータリーはその地域社会に於けるリーダーとして、存在を期待される集団であることを信じています。ロータリーの精神を地域に影響させ、より良い社会の進展に貢献させることだと考えます。自分だけの損得の判断を優先することではなく、善し悪しの行動が基本でありたいと思います。

【ロータリーにて得たもの】

- ・ロータリーには心通える友を得られる。
- ・ロータリーは明日の人材を作る。
- ・ロータリーの目指す所は奉仕である。
- ・職業倫理と公正なるビジネスを知る。

7月ガバナー公式訪問・研究会日程表

1	火		12	土	ロータリー財団セミナー	23	水	
2	水		13	日		24	木	下妻RC
3	木		14	月		25	金	水戸南RC
4	金		15	火		26	土	
5	土		16	水		27	日	青少年奉仕研究会
6	日	第1回諮問委員会	17	木		28	月	那珂湊RC
7	月		18	金	守谷RC	29	火	
8	火		19	土	奉仕プロジェクト研究会	30	水	下館RC
9	水	高萩 RC	20	日		31	木	筑西きぬRC
10	木	笠間 RC	21	月	海の日			
11	金		22	火	日立RC			

ガバナー事務所紹介

ガバナー 瀬戸隆海（水海道）

地区副幹事

松坂 武（水海道）

地区幹事 青木正弘（水海道）

宮代 尚（水海道）

鷺谷一彦（しもだて紫水）

山中弘樹（水海道）

大河原 浩（高萩）

淀名和茂彦（水海道）

地区会計長・財務委員長 倉持功典（水海道）

月信委員会

委員長 秋田政夫（水海道）

ロータリーの友地区代表委員 北村英明（水海道）

副委員長 石塚克己（水海道）

地区大会実行委員長 青木清人（水海道）

委員 鈴木勝久（水海道）

地区副幹事 古矢 満（水海道）

雨谷道夫（水海道）

北村英明（水海道）

大澤 清（水海道）

小林聡司（水海道）

染谷正美（水海道）

齋藤政博（水海道）

事務局 和久和美

鈴木勝久（水海道）

月信 7月号編集後記

瀬戸隆海ガバナー船出と共に、ガバナー月信発行を編集委員6名にて担当していきます。

何分にも初体験のこと、至らぬ点が多いかと存じますが、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、7月号においては主に新年度のRI、第2820地区の基本方針、事項等を掲載いたしました。また、瀬戸ガバナーの意向を踏まえて第2820地区の「情報、コミュニティ広場」としての企画、役割を果たしていきたいと思っています。

是非、御クラブ活動の情報をお寄せいただければ幸いに存じます。

向う1年間宜しくお願い申し上げます。

（月信委員会 委員長 秋田政夫）